

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 27 年 1 月 10 日		
所属学部・研究科	法学部 4年次 (留学開始時点)			
留学先大学	釜山大学校 (国名: 韓国)			
所属学部・学科等名	人文大学 国語国分学科			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 26 年 8 月 27 日 ~ 平成 26 年 12 月 28 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: D-2			
	ビザ申請先: 駐広島大韓民国総領事館			
	取得方法, 提出書類: 申込書, パスポート, 銀行の残高証明書, 入学許可書			
	手続きに要した日数: 1 日			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 27 年 8 月 28 日			
経路	博多~釜山 フェリー			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	大学生生活関連 8/29 英語で実施 寮生活関連 9/17 英語で実施			
帰国年月日	平成 27 年 12 月 27 日			
経路	釜山~博多 フェリー			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	397,000	円	
	内訳	渡航費	18,000	円
		保険料	45,000	円
		教科書代(学費)	4,000	円
		宿舍費	130,000	円
		食費,交通費,旅行費, その他生活費	200,000	円
<b>3. 授業について</b>				
4年 2学期	9月 1日 ~	12月 19日		
年 学期	月 日 ~	月 日		

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	韓国語のクラスは初・中・高級の 3 クラスしかなく,きちんとレベルに合った勉強ができないと感じました。現地学生と一緒に授業を取ったことで交流の
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	現地学生と同じ授業を履修する場合, ある程度の語学力が無いとついていけないため, 日本でよく語学を勉強しておく必要があります。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 m <sup>2</sup>   同居人の有無   <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 1人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コンビニ, ジム, 洗濯室, 読書室)
住居費	1ヶ月当たり 1,400,000 ウォン(現地通貨)   約 150,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	外食ばかりしてられないので, 毎日ご飯が用意されていることは非常にありがたかったです。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 450,000 円 補償額 死亡 10,000,000 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	よくわかりませんが, 何よりも言葉が異なるので意思疎通が簡単にはできないと思います。
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	

(3) 危険を感じた地域, 状況		
特にありませんでした。ただ、寮から学生街まで徒歩で約30分あり(街灯はあるがそれほど明るくない)、循環バスも20時で終わるため、夜は早めに帰る、一人で出歩かないなど注意するべきであると思います。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成27年3月 (当初の卒業予定年月 平成27年3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	卒業後、就職する予定です	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	3年次での留学を計画していましたが選考に落選しました。しかしその一年間を、知識をより蓄える期間として使うことができ、また、就職活動を終えての留学となったことで、気持ちに余裕を持って、現地での勉強に励むことができたため、今では良かったと思っています。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
釜山ナビ	釜山についての情報サイト	
コネスト	韓国全般についての情報サイト	
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
1学期間、約4ヶ月という短い期間でしたが、中身の濃い留學生活を送ることができました。釜山大学は、他国から多くの学生を受け入れているため、幅広い交流ができます。また、バスターミナルも近いため、近郊へ足を伸ばすのも楽しいでしょう。就職活動の時期が変わったということもあり、留学に関心を持っている人は是非とも挑戦してみるべきだと思います。		

## 学習の概要に関するレポート

私は1学期間、約4ヶ月の間、釜山大学校に留学していました。

釜山大学校はバディ制度があり、留学生1人に1人の現地学生がついてくれます。空港のピックアップから始まり、滞在手続きから履修登録、銀行口座開設、学校についてなど、あらゆる面で助けてくれるサポーターであり、初めての友達でもあります。前学期までは留学生2人に現地学生1人がついていたようで、良い意味で独り占めでき、友好関係を深めることができたと思います。この学校には英語や中国語、日本語を話せる学生が多くいて、可能な範囲で、共通言語を合わせるみたいですが、私のバディはフランス語専攻の日本語を全く話せない子でした。しかしそのことがかえって、私の語学力を鍛えてくれたと確信しています。韓国や韓国語について分からないことがあれば分かりやすく教えてくれ、また、釜山出身の子であったため、一緒に観光に行っては案内・説明をしてくれ、方言も学ばせてもらいました。知らない土地で、知り合いがいない状態でのスタートであるという不安を消してくれる、良い制度だと思います。

授業に関してですが、私は日本文化の理解、韓国文化の理解、東アジアの思想と文化という3つの授業を履修していました。8月頃に履修期間が設定されていて、新学期が始まってからも追加・削除できる期間がありました。しかし人気なものは既に締め切ってしまい、私も面白そうな授業を見つけましたが履修することができませんでした。科目によっては留学生だといえば受け入れてくれるところもあるみたいですが、新学期が始まる前に前もってどんな授業があるのか調べ、早めに履修登録することをおすすめします。交換留学では、語学堂に通い韓国語を学ぶのではなく、現地学生と同じ授業を聞くことになります。しかし留学生用の授業がいくらか用意されており、そのなかには韓国語の授業もあります。初・中・高級の3レベルしか無いため、自分のレベルに合うものであるかは分かりません。先生も他の日本人留学生も言っていました、高級といえども中級レベルの内容だそうです。しかし発表やディベートが設けられていて受けてみる価値があります。私が受けていた日本文化の理解の授業では、日本に関心のある学生と出会うことができ、また、彼らが日本をどう見ていてどこに興味があるのかを知ることができます。日本文化の授業といえども、知らないこと、今まで考えもしなかったことを多く学ぶことができ、考えさせられる授業です。東アジアの思想と文化は、韓国人の根にある儒教思想を中心として東アジアの文化について学びました。先生の言葉がなまっていますし、出てくる単語が難しく、試験も論述問題であったため非常に苦戦した授業でしたが、周りが皆韓国人学生であるという環境で学べたことは非常に貴重な経験です。釜山大学校の授業はプレゼンテーションやグループワークが多く、皆慣れている印象でした。私も、韓国文化の理解と日本文化の理解で経験しました。日本でもしたことないに等しいのに、韓国語でPowerPointを作成し、発表を行うのは神経と体力を使いましたが、この先社会人となった時にも使うことのできる有意義なものであると感じました。

学校での勉強は当然、韓国への知識を深めてくれます。しかし、留学するからできること、現地に行くからできることを重要視し、私は現地の方々との交流を大切にしていました。私は釜山市庁で行われる授業に行ったり、語学交換をしたり、一人で旅行して人に話しかけたりしていました。多くの人と出会い、様々な話を聞き、教科書では学べない多くのことを学びました。しかしこのようなことができたのも、日常生活に困らない程度語学力があったからだだと思います。言葉が分からないからこそ感じることもできる何かもありますが、言葉が分かればもっとそれ以上に大きく、衝撃的な刺激を受けることができるでしょう。留学を終えて、準備しておいて良かったと思える一番のものは語学力ですが、もっと準備しておけば良かったと思うものも語学力でした。もっと備わっていたら、もっといろんなことに挑戦することができ、韓国を近くに感じることもできたと思うからです。後輩の皆さんにも現地に行くからこそできること、座学では知りえないことを多く学んで欲しいと思います。

## 生活の概要に関するレポート

韓国での生活は非常に快適でした。

寮についてですが、大学内には男女ともに二箇所ずつ寮があり、選択可能となっています。私はウンビ館という、新しめの寮で生活していました。部屋にはベッド、シャワー、トイレ、机が備わっており、一室二人部屋でも不自由なく快適に過ごせる広さです。施設内には食堂やコンビニ、ジム（有料）があります。週7日2食、週7日3食、週5日3食のプランが設定され、自分で朝・昼・夕どれをとるか選択できます。毎日ご飯が用意されているのは非常にありがたいことでした。コンビニのご主人はフレンドリーかつ優しい方で、小銭が足りなかったときに値段をまけてくれたこともありました。（良いのかわかりませんが…）。各階にはウォーターサーバーがあり、お湯も出ます（お湯が出ないときがしょっちゅうありました）。地下3階、地上11階建ての寮で、多くの学生が暮らしています。しかしエレベーターは2つしかなく、授業の移動時間にはなかなか来ないし、来ても満員で乗れないこともありました。釜山には非常に山が多いです。釜山大学校も正門から徐々に上り坂となっており、急な坂が多くあります。この寮は正門から最も遠く、最も高いところに位置しています。正門、駅、学生街に行くには徒歩で約30分かかります。校内～街間で循環バスが走っていますが20時で終了し、バスを利用したとしても寮と最寄りのバス停の間にある特に急な坂を上がらなければなりません。しかし、友人と話しながら歩けばすぐに到着しますし、運動にもなる前向きに考えて徒歩で頑張っていました。大きな買い物や夜遅くなったときにはタクシーを利用するのも良いと思います（初乗り料金で収まります）。もう一つの女子寮としてチャユ館がありました。この寮は駅や街に近いところにありますが、古めで、共同のシャワー・トイレです。二人部屋ですが、ベッドとベッドの間には通路程度のスペースしかないくらい狭いと聞きました。そのためウンビ館よりも寮費が安いのです。しかし、ジムは無料、食堂のご飯は格段に美味しいそうです。あまり部屋にこだわらないという人はチャユ館を選ぶと良いのかもかもしれません。

釜山はソウルほどに、日本人もいないし、日本語も通じません。これは私が釜山を選んだ理由でもあります。前回ソウルで留学したのですが、日本人と一緒に行動したり、日本語が通じる環境に甘えてしまったりという反省点がありました。テレビや食堂のメニュー、買い物、あらゆる場面が韓国語に囲まれている生活は、想像以上に刺激的で、常に心躍っていました。意思疎通できる喜びと、言葉が通じない悔しさを感じ、もっと話したい、もっと勉強しようという、モチベーション維持につなげることができました。日本人同士で固まらないように努力していましたが、やはり時には日本人の存在は心強かったです。私が行ったとき10人ほどの日本人交換留学生在が前学期から留学していました。留学開始当初は寮や学校生活について教えてもらったり、どこが安いとか、どこが良い、楽しいとかという情報を提供してもらったりしていました。心細くなることなく生活できたのも彼らのおかげです。貴重な留学経験なので、日本人に頼りすぎず、バランスを考えて生活してもらいたいと思います。